

<p>【イベント名】 第50回 APAN 会議 テクノロジー</p>	<p>【概要】 公衆衛生の危機の渦中において、APAN医療ワーキンググループの技術者は多くの遠隔医療活動を支援している。今回、技術的な経験を共有する医療WGのパートナーを招待して、異なるビデオ会議のプラットフォームの使用について実りある議論を行った。アジア消化器センターからはOBSストリーミングについての講演、九州大学病院からは新しいコミュニケーションプラットフォームであるSlackが紹介された。</p>
<p>【期日】 2020.08.04</p>	
<p>【会場】 国立台湾大学（台湾）、九州大学病院（日本）、アジア消化器センター（インド）、マラヤ大学（マレーシア）、国家実験研究院（台湾）、バングラデシュ研究教育ネットワーク（バングラデシュ）、フィリピン先端科学技術機構（フィリピン）、アイルランガ大学（インドネシア）</p>	
	
<p>セッションの座長を務めるMr. Chiang。</p>	<p>モニタに映し出される接続施設。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>アジア消化器センターから提示されたスライド。</p>	<p>九州大学病院から提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>マラヤ大学の様子。</p>	<p>国立台湾大学からの参加者。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>